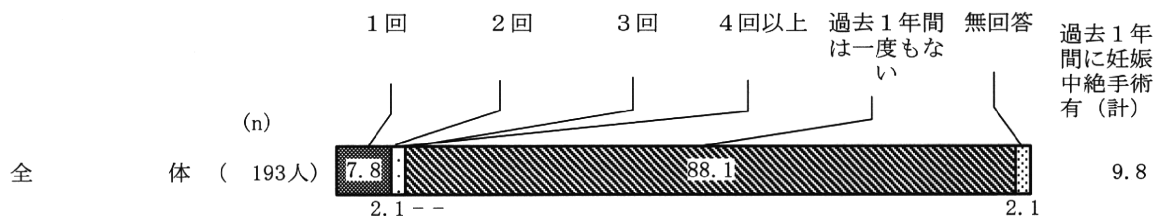


3 過去1年間の人工妊娠中絶手術の有無

【問37で「1」～「5」と答えた方にお聞きします。】

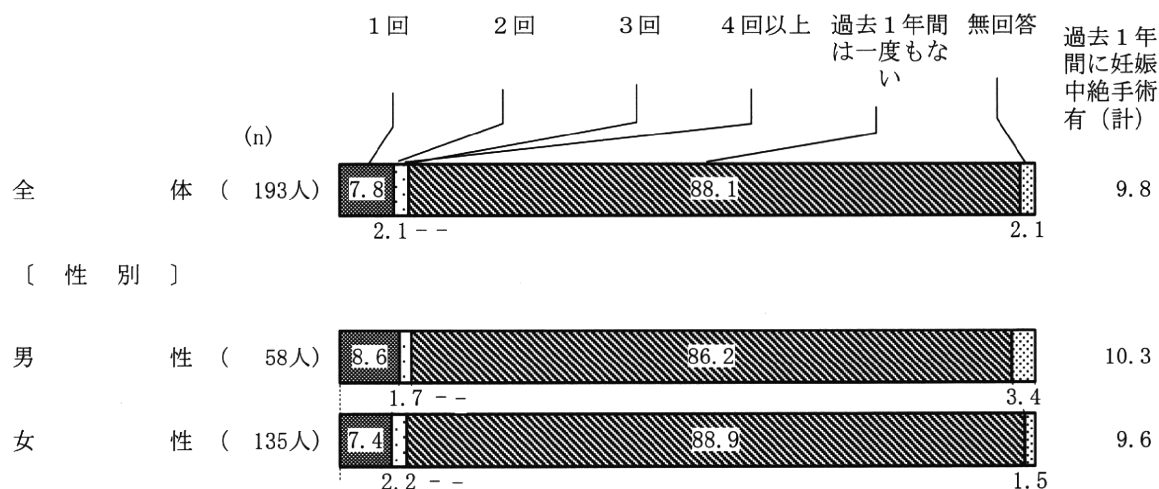
問37-1 では、過去1年間に人工妊娠中絶の手術を受けたことはありますか。(〇は1つ)



これまでに自分または自分の相手が人工妊娠中絶手術を受けたことがある者(193人)に、過去1年間の人工妊娠中絶手術の経験を聞いたところ(図8-3-1)、「1回」(7.8%)という者と2回以上受けたものを合わせた『過去1年間に人工妊娠中絶手術を受けた』者(9.8%)は約1割となっている。また、「過去1年間は一度もない」者(88.1%)は約9割で大多数を占めている。

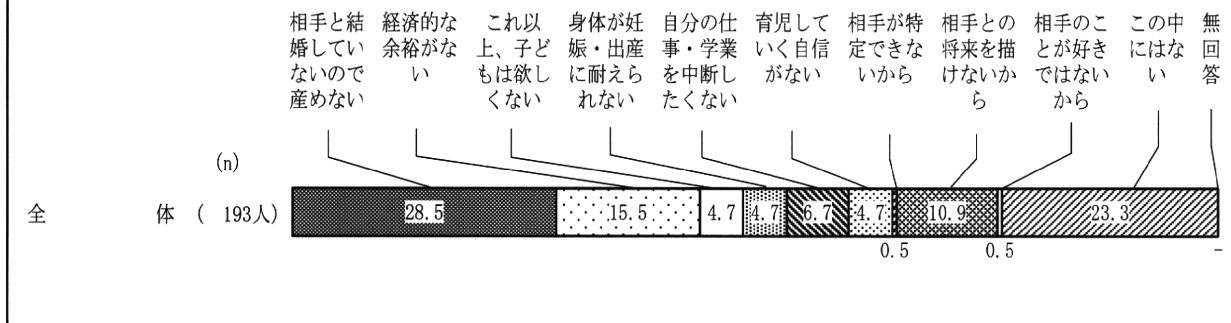
性別にみると(図8-3-1)、大きな差はみられない。

図8-3-1 過去1年間の人工妊娠中絶手術の有無(性別)



4 最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決めた理由

問 37-2 あなた（あるいは、あなたの相手）が、最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決めた理由は、何ですか。（○は1つ）

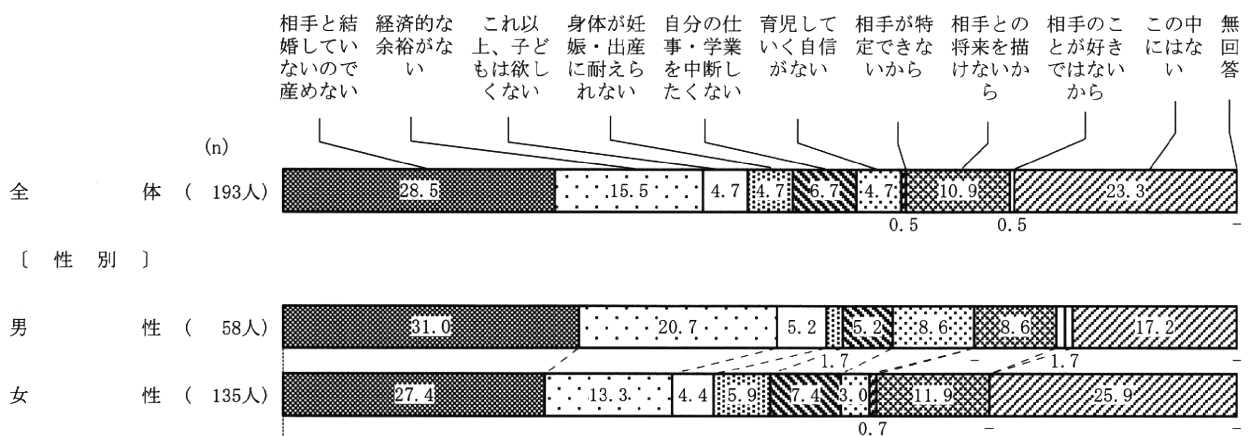


これまでに自分または自分の相手が人工妊娠中絶手術を受けたことがある者（193人）に、最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決めた理由を聞いたところ、「相手と結婚していないので、産めない」（28.5%）という者が約3割で最も多く、以下、「経済的な余裕がない」（15.5%）、「相手との将来を描けないから」（10.9%）、「自分の仕事・学業を中断したくない」（6.7%）の順になっている。

なお、「この中にはない」（23.3%）と答えた者は2割を超えている。

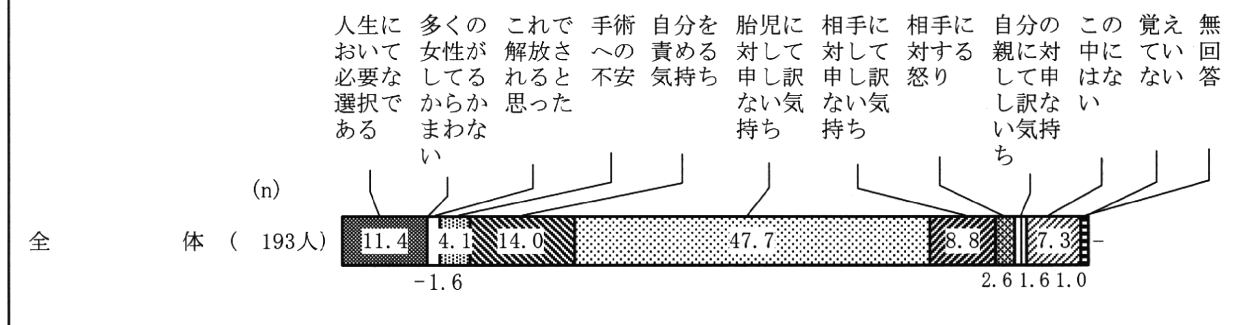
性別にみると（図8-4-1）、「相手と結婚していないので、産めない」（男性31.0%、女性27.4%）、「経済的な余裕がない」（同20.7%、女性13.3%）という者は、女性より男性で多くなっている。

図8-4-1 最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決めた理由（性別）



5 最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決定したときの気持ち

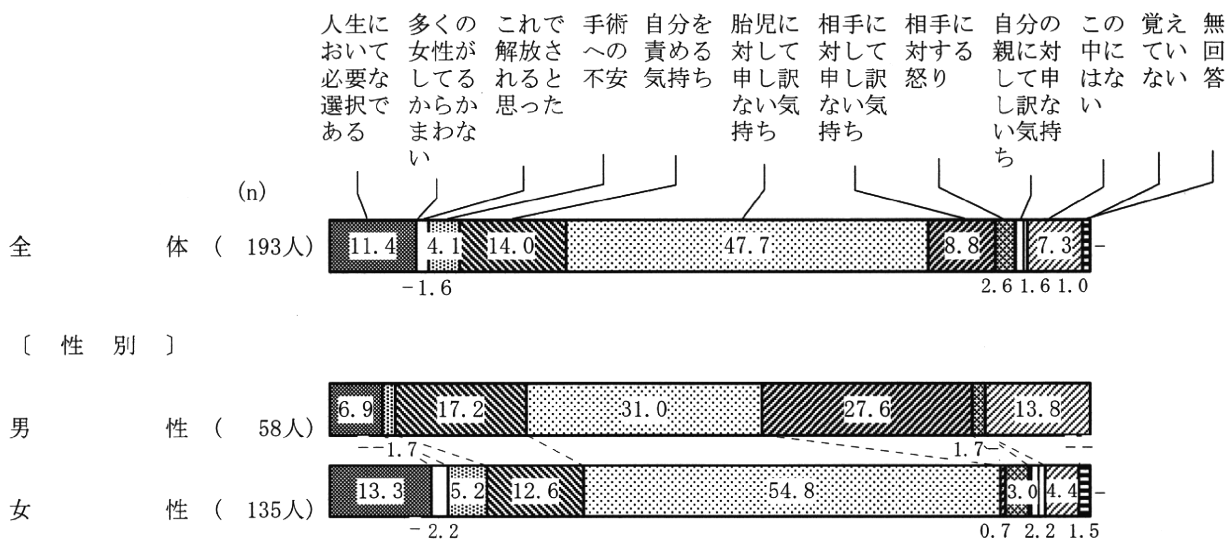
問37-3 あなた（あるいはあなたの相手）が、最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決定したとき、あなたはどのような気持ちでしたか。（○は1つ）



これまでに自分または自分の相手が人工妊娠中絶手術を受けたことがある者（193人）に、最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決定したときの気持ちを聞いたところ、「胎児に対して申し訳ない気持ち」だったという者が47.7%で最も多く、次いで「自分を責める気持ち」（14.0%）、「自分の人生において必要な選択である」（11.4%）、「相手に対して申し訳ない気持ち」（8.8%）の順になっている。

性別にみると（図8-5-1）、男女共「胎児に対して申し訳ない気持ち」（男性31.0%、女性54.8%）という者が最も多いが、女性（54.8%）が男性（31.0%）を大きく上回っている。一方、「相手に対して申し訳ない気持ち」だったという者は、女性（0.7%）より男性（27.6%）で多くなっている。

図8-5-1 最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決定したときの気持ち（性別）



Ⅲ 調 査 票

第5回 男女の生活と意識に関する調査

- この調査票に回答された内容については、統計として取りまとめるだけで、皆様の個人的な内容が明らかにされることはいっさいありません。お答えになりにくい質問もあるかと思いますが、純粋に医学的見地からの質問となっておりますので、どうぞよろしく願いいたします。
- どうしても、答えにくい質問があれば、その部分は無回答でも結構です。次の質問に進んでください。

〔ご記入に際してのお願い〕

- 1) この調査は、**調査をお願いしたご本人様**にご回答をお願いいたします。
- 2) お答えは、あてはまる番号を○印で囲んでいただくか、数字をご記入ください。
- 3) お答えは原則的に1つの質問につき1つ選んでいただきます。ただし質問によっては、2つ以上の回答を選んでいただく場合もあります。質問文末に(○は2つまで)など、選んでいただく回答の数が示してありますので、これに従ってください。
- 4) ご記入は、質問の番号や矢印(→)の指示にそってお願いします。一部の方だけにお答えいただく質問もありますので、その場合は、【 】内の指示に従ってお答えください。
- 5) ご記入は鉛筆または黒・青のペン、ボールペンでお願いします。なお、記入上おわかりにならない点などがありましたら、お伺いした調査員にお尋ねいただくか、調査の実施機関である下記の(社)新情報センターにお問い合わせください。

〔回収日時〕

9 月 日 時頃に回収にお伺いします。それまでにご記入いただき、**回収用封筒に密封して**お渡しいたきますよう、お願い申し上げます。

平成22年9月

厚生労働科学研究費補助金 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 「望まない妊娠防止対策に関する総合的研究」

主任研究者 順天堂大学医学部産科婦人科学講座教授 竹田 省
分担研究者 (社)日本家族計画協会

家族計画研究センター所長 北村 邦夫

【調査実施機関】 社団法人 新 情 報 セ ン タ ー

東京都渋谷区恵比寿1-13-6

(お問い合わせ) 月～金(祝日除く) 9～17時(昼休み除く)

フリーダイヤル 0120-78-5231

担当: 阪 口、飯 田

ホームページアドレス: <http://www.sjc.or.jp/>

調査員氏名	
-------	--

あなたのこれまでの日常生活や考え方についてお伺いします。

問1 あなたは10歳くらいの頃まで、地域の中で、友だちや他の年代の人たちと関わる機会が多くありましたか。(〇は1つ)

- ⑦
- | | |
|-----------|----------------|
| 1 よく関わった | 3 ほとんど関わりはなかった |
| 2 時々、関わった | 4 まったく関わりはなかった |

問2 あなたが生活する上で、あなたの行動や考え方について、最も影響を受けたのは何ですか。(〇は1つ)

- ⑧
- | | |
|-----------|----------------------|
| 1 親 | 7 友人・先輩 |
| 2 祖父母 | 8 マスコミ (新聞、テレビ、雑誌など) |
| 3 きょうだい | 9 インターネット |
| 4 それ以外の親族 | 10 宗教 |
| 5 近隣の人々 | 11 この中にはない |
| 6 学校 | |

問3 あなたが中学生の頃までのことを、お聞きします。

(1) あなたは中学生の頃、家庭に対してどう感じていましたか。(〇は1つ)

- ⑨
- | | |
|-----------|--------------|
| 1 楽しかった | 3 あまり楽しくなかった |
| 2 まあ楽しかった | 4 楽しくなかった |

(2) あなたは、普段、親と話をしていましたか。(〇は1つ)

- ⑩
- | | |
|-----------|---------------|
| 1 よく話をした | 3 ほとんど話をしなかった |
| 2 時々、話をした | 4 まったく話をしなかった |

問4 あなたは両親をどのように思っていますか。母親と父親について、それぞれ最も近いものを選んでください。(〇はそれぞれ1つずつ)

- ⑪
- | | (1) 母親に対して | (2) 父親に対して |
|----------------------|------------|------------|
| 産んでくれて、育ててくれて、感謝している | 1 | 1 |
| 嫌い、うっとうしい | 2 | 2 |
| 何とも思っていない | 3 | 3 |
| この中にはない | 4 | 4 |
- ⑫

問5 あなたは、自分自身の「両親の離婚」を経験したことがありますか。

- ⑬
- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問6 あなたは、これまでに自傷行為 (自分で自分の体を傷つける、たとえばカミソリで手首に傷をつけるなど) をしたことがありますか。(〇は1つ)

- ⑭
- | | |
|----------|-------------------------|
| 1 何回もある | 3 したことはないが、しようと思ったことはある |
| 2 1度だけある | 4 したことはない、しようと思ったこともない |

問7 あなたは、18歳くらいの頃までに、両親や同居していた方から虐待を受けたことがありますか。

1 ない → 問8へお進みください 2 ある

⑮

【「2 ある」と答えた方にお聞きします。】

問7-1 あなたが受けた虐待は以下のどの項目に当てはまりますか。(○はいくつでも)

1 身体的な虐待 (殴る、蹴る、熱湯をかける、たばこの火を押しつけるなど) 2 性的な虐待 (性的な行為の強要、性器や性交を見せるなど) 3 養育の放棄 (ネグレクト) (食事を与えない、長時間放置するなど) 4 心理的な虐待 (子どもの心を傷つけるようなことをくり返し言うなど)

⑯

問8 性に関する事柄について、あなたは一般的に、何歳くらいの時に知るべきだと思いますか。a～pのそれぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

	3 歳	6 歳	10 歳	13 歳	16 歳	19 歳 以上	異なる 個人 によって	知る 必要 はない
a 男女の心と身体の違い	1	2	3	4	5	6	7	8
b 二次性徴 (発毛・声変わり・乳房のふくらみ)、月経、 射精などの身体のしくみ	1	2	3	4	5	6	7	8
c 受精、妊娠、出産、誕生のしくみ	1	2	3	4	5	6	7	8
d セックス (性交渉)	1	2	3	4	5	6	7	8
e 避妊法	1	2	3	4	5	6	7	8
f 人工妊娠中絶	1	2	3	4	5	6	7	8
g エイズとその予防	1	2	3	4	5	6	7	8
h エイズ以外の性感染症とその予防	1	2	3	4	5	6	7	8
i コンドームの使い方	1	2	3	4	5	6	7	8
j 多様な性のあり方 (同性愛、性的指向、性同一性障害等)	1	2	3	4	5	6	7	8
k 性的被害 (レイプや性暴力など) の対処法	1	2	3	4	5	6	7	8
l 男女間の平等や助け合い	1	2	3	4	5	6	7	8
m 結婚	1	2	3	4	5	6	7	8
n 離婚	1	2	3	4	5	6	7	8
o 人と人とのコミュニケーション (関わり方)	1	2	3	4	5	6	7	8
p 性に関する倫理や道徳	1	2	3	4	5	6	7	8

⑰

⑱

⑲

⑳

㉑

㉒

㉓

㉔

㉕

㉖

㉗

㉘

㉙

㉚

㉛

㉜

あなたの性の意識や知識についてお伺いします。

問9 あなたは、中学生がセックス（性交渉）をすることについてどう思いますか。（○は1つ）

③

- 1 セックス（性交渉）は、妊娠や性感染症について、自分で責任のとれる年齢や立場になってからすべきだ
- 2 妊娠や病気が学業に与えるその後の影響を考えると、しないほうがよい
- 3 時代の流れであるので仕方がない
- 4 セックス（性交渉）をするかしないかは、中学生であっても個人の自由である

問10 現在、あなたはセックス（性交渉）をすることに、関心がありますか。（○は1つ）

④

- 1 とても関心がある
- 2 ある程度関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 まったく関心がない
- 5 嫌悪している

問11 現在、あなたは実際に異性と関わることを面倒だと感じますか。（○は1つ）

⑤

- 1 とても面倒である
- 2 少し面倒である
- 3 あまり面倒ではない
- 4 まったく面倒ではない
- 5 異性とかかわることを嫌悪している

問12 以前に、あなたは避妊方法について、主にどこから知りましたか。（○は1つ）

⑥

- 1 教師・学校の授業
- 2 医師、助産師、保健師などの保健医療者
- 3 親
- 4 きょうだい
- 5 親以外の大人
- 6 友だち
- 7 マスコミ（新聞、テレビ、雑誌など）
- 8 インターネット
- 9 意識せず、自然に身についた
- 10 学んだことはない

問13 次の避妊法のうち、あなたが現時点でもっとも適切と判断するのはどれですか。（○は1つ）

⑦

- 1 コンドーム
- 2 経口避妊薬（ピル：飲む避妊薬）
- 3 フィルム状避妊薬
- 4 オギノ式避妊法（月経からの日数計測）
- 5 基礎体温法（基礎体温をはかる）
- 6 膣外射精法（精液を外に出すこと）
- 7 ペッサリー
- 8 緊急避妊法
- 9 IUD/IUS（避妊リング）
- 10 この中にはない

問14 どうすればコンドームの利用が増えると思いますか。（○は1つ）

⑧

- 1 値段を安くする
- 2 いろいろな場所で入手できる
- 3 使いやすい商品を開発する
- 4 コンドームの有効性（性感染症の予防効果など）を周知する
- 5 その他（具体的に： _____）

問15 あなたは低用量ピル（経口避妊薬）を知っていますか。（○は1つ）

⑨

- 1 よく知っている
- 2 ある程度知っている
- 3 あまり知らない
- 4 まったく知らない

問 16 あなたは、「緊急避妊法」「モーニングアフターピル」「性交後避妊」のいずれかの言葉を聞いたことがありますか。(○は1つ)

1 聞いたことがある	2 聞いたことがない → 問 18 へお進みください
------------	----------------------------

【問 16 で「1」と答えた方にお聞きします。】

問 17 上記のいずれかの言葉に該当する方法を利用したことがありますか。いくつかの方法を利用したことのある方は、合計の回数をお答えください。(○は1つ)

1 1回だけある	3 3回以上ある	5 わからない
2 2回ある	4 利用したことはない	

あなた自身の性行動についてお聞きします

問 18 あなたは、これまでに異性とセックス（性交渉）をしたことがありますか。(○は1つ)

1 ある	2 ない → 9 ページの問 33 へお進みください
------	----------------------------

【問 19～問 21 は、問 18 で「1 ある」と答えた方にお聞きします。】

問 19 この1年間で、何人の異性とセックス（性交渉）をしましたか。(○は1つ)

1 1人	5 5～9人	9 100人以上
2 2人	6 10～19人	10 この1年間は、セックス（性交渉）をしなかった
3 3人	7 20～49人	
4 4人	8 50～99人	

問 20 現在、あなたには決まった交際相手（配偶者含む）以外に、セックス（性交渉）する関係のある異性がいますか。(○は1つ)

1 1人	4 4人	7 そのような人はいない
2 2人	5 5～9人	
3 3人	6 10人以上	

問 21 あなたの、この1ヶ月間の、異性とセックス（性交渉）の回数はどれくらいですか。(○は1つ)

1 1回	4 4回	7 20～49回
2 2回	5 5～9回	8 50回以上
3 3回	6 10～19回	9 この1ヶ月間は、セックス（性交渉）をしなかった

【問 21 で「9」と答えた方にお聞きします。】

問 22 セックスに対して積極的になれない理由のうち、もっともあなたの意見に近いものを選んでください。(○は1つ)

1 相手がいない	7 セックスに際して痛みがある
2 相手の一方的なセックスに不満がある	8 セックスより趣味など楽しいことがある
3 家が狭い	9 妊娠することへの不安が強い
4 家族（肉親）のように思えるから	10 勃起障害（ED）に対する不安がある
5 仕事で疲れている	11 面倒くさい
6 出産後何となく	12 その他（具体的に： ）

あなたの初めてのセックス（性交渉）について、お聞きします。

問 23 あなたが、最初に異性とセックス（性交渉）をしたのは何歳の時ですか。

歳の時

④⑦ ④⑧

問 24 あなたは、最初の異性とセックス（性交渉）をする前に、「初めてのセックス（初体験）」というものを、どのように考えていましたか。（○は1つ）

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1 かなり重大なことだと感じていた | 3 やや軽く考えていた |
| 2 やや重大なことだと感じていた | 4 かなり軽く考えていた |

④⑨

問 25 初めてセックス（性交渉）をした異性の相手（配偶者を含む）とはどのようにして知り合いましたか。（○は1つ）

- 1 もともと幼なじみであり、その人に好意を持つようになった
- 2 友人や先輩から紹介されて知り合った
- 3 塾、ゼミ、クラブ、サークル、ボランティア活動などで知り合った
- 4 職場やアルバイト先で、知り合った
- 5 携帯電話やパソコンメールを通して、知り合った
- 6 町で声をかけられたりして知り合った
- 7 お見合いによって知り合った
- 8 この中にはない

⑤⑩

問 26 異性と初めてのセックス（性交渉）をするきっかけは、どのようなことでしたか。もっとも当てはまるものを選んでください。（○は1つ）

- | | |
|------------------|--------------|
| 1 愛していたから | 6 友人に遅れたくなくて |
| 2 遊びや好奇心から | 7 お金が欲しくて |
| 3 酒を飲んだ勢いで | 8 ただなんとなく |
| 4 相手をつなぎ止めておきたくて | 9 さびしくて |
| 5 無理やり迫られて | 10 この中にはない |

⑤⑪

問 27 あなたは、異性と初めてセックス（性交渉）した後どんな気持ちでしたか。もっとも当てはまるものを選んでください。（○は1つ）

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 うれしかった | 4 期待はずれで少し落胆した |
| 2 肩の荷がおりの感じがした | 5 むなしかった、後悔した |
| 3 何とも感じなかった | 6 この中にはない |

⑤⑫

問 28 異性と初めてセックス（性交渉）した相手と、出会ってからセックス（性交渉）するまで、どのくらいの間、交際していましたか。（○は1つ）

- | | |
|---------------|---------|
| 1 1日（出会ったその日） | 5 6か月未満 |
| 2 1週間未満 | 6 1年未満 |
| 3 1か月未満 | 7 3年未満 |
| 4 3か月未満 | 8 3年以上 |

⑤⑬

問 29 異性と初めてのセックス（性交渉）の時に、避妊をしましたか。（○は1つ）

1 避妊した	
2 避妊しなかった	→ 問 29-2 へ
3 わからない（忘れた）	→ 問 30 へ

54

【問 29 で「1 避妊した」と答えた方にお聞きします。】

問 29-1 そのときに使った避妊法は以下のうちどれでしたか。（○は1つ）

1 コンドーム	5 膈外射精法（精液を外に出すこと）
2 経口避妊薬（ピル：飲む避妊薬）	6 洗浄法
3 オギノ式避妊法（月経からの日数計測）	7 この中にはない
4 基礎体温法（基礎体温をはかる）	

55

【問 29 で「2 避妊しなかった」と答えた方にお聞きします。】

問 29-2 なぜ避妊しなかったのですか。（○は1つ）

1 避妊についてよく知らなかった	6 子どもが欲しかった
2 自分の方から避妊を言い出せなかった	7 妊娠しないと思った
3 「避妊しよう」と言ったが相手に断られた	8 面倒だった
4 避妊具がなかった	9 完璧な避妊はないと思ったから
5 子どもができてかまわなかった	10 その他（具体的に)

56

現在のあなたの避妊の状況について、お聞きします。

問 30 あなたは避妊することや、その方法について、セックスする相手とよく相談して決めていますか。（○は1つ）

1 よく相談している	3 まったく相談していない
2 あまり相談していない	

57

問 31 この1年間で、あなたは避妊していますか。（既に、子宮内避妊具を使用している方や不妊手術を受けている方は、「1 いつも避妊している」を選んでください。）（○は1つ）

1 いつも避妊している	→ 次ページの問 32 へお進みください
2 避妊をしたり、しなかったりしている	
3 避妊はしない	
4 セックス（性交渉）をしていない	→ 9 ページの問 33 へお進みください

58

【問 31 で「2」または「3」と答えた方にお聞きします。】

問 31-1 避妊をせずに異性と性交渉を行った場合、妊娠する場合があります。あなたは「もしかしたら妊娠するかもしれない」と心配することがありますか。（○は1つ）

1 とても心配することがある	3 あまり心配することはない
2 すこし心配することがある	4 まったく心配することはない

59

問 31-2 あなたが、異性とのセックスで避妊をしていないことがあるのはなぜですか。もっとも大きな理由を1つお答えください。(〇は1つ)

60

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1 避妊についてよく知らない | 6 子どもが欲しい |
| 2 自分の方から避妊を言い出せない | 7 妊娠しないと思う |
| 3 「避妊しよう」と言ったが相手に断られる | 8 面倒だ |
| 4 避妊具がない | 9 完璧な避妊はないから |
| 5 子どもができてかまわない | 10 その他(具体的に) |

【問 31 で「1 いつも避妊している」または「2 避妊をしたり、しなかったりしている」と答えた方にお聞きします。問 31 で「3 避妊はしない」と答えた方は問 33 にお進みください。】

問 32 あなたの、現在の主な避妊方法はどれですか。(〇は2つまで)

61

- | | | |
|----------------|-----------------------|------------------------------|
| 1 コンドーム | 2 オギノ式避妊法(月経からの日数計測) | 「1」に〇がない方は、
問 33 へお進みください |
| | 3 基礎体温法(基礎体温をはかる) | |
| | 4 膈外射精法(精液を外に出すこと) | |
| | 5 洗浄法 | |
| | 6 殺精子剤(錠剤、ゼリー、フィルム) | |
| | 7 子宮内避妊具(IUD/IUS、リング) | |
| | 8 経口避妊薬(ピル:飲む避妊薬) | |
| | 9 不妊手術(男性) | |
| | 10 不妊手術(女性) | |

【問 32-1 から問 32-3 の質問は、問 32 で「1 コンドーム」と答えた方にお聞きします。】

問 32-1 あなたは、決まった交際相手(配偶者含む)とのセックス(性交渉)では、コンドームを毎回使用していますか。(〇は1つ)

62

- | | |
|------------|-----------------------|
| 1 必ず使用している | 3 ほとんど使用していない |
| 2 時々使用している | 4 配偶者あるいは決まった交際相手はいない |

問 32-2 あなたは、決まった交際相手(配偶者を含む)以外とのセックス(性交渉)では、コンドームを毎回使用していますか。(〇は1つ)

63

- | |
|------------------------------------|
| 1 必ず使用している |
| 2 時々使用している |
| 3 ほとんど使用していない |
| 4 決まった交際相手(配偶者を含む)以外とのセックス(性交渉)はない |

問 32-3 コンドームを使っている最も大きな理由は何ですか。(〇は1つ)

64

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1 性感染症予防のため | 6 どこでも手に入りやすい |
| 2 確実な避妊方法だと思う | 7 安心できるから |
| 3 相手が使っている | 8 よく使われているから |
| 4 コンドーム以外の避妊方法を知らない | 9 なんとなく |
| 5 値段が安い | 10 この中にはない |

低用量ピル についてお聞きします。

問 33 低用量ピル（経口避妊薬）は、ホルモン含有量を抑えた、女性が飲む錠剤の避妊薬ですが、あなた自身は低用量ピルを使いたい、または相手に使ってほしいと思いますか。（○は1つ）

- | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 すでに使っている 2 現在は使っていないが、ぜひ使いたい（使ってほしい） | <ul style="list-style-type: none"> 3 将来は使いたい（使ってほしい）が、今の状況では使えない 4 使いたくない（使ってほしくない） |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

65

【問 33 で「1」または「2」と答えた方に、お聞きします。】

問 33-1 低用量ピルを「使っている」または「ぜひ使いたい」と思う最も大きな理由は何ですか。（○は1つ）

- 1 避妊効果が高い
- 2 手軽に使える
- 3 低用量だから副作用が少ない
- 4 女性自身の意思で使うことが出来る
- 5 セックス（性交渉）の際に避妊を意識しないですむ
- 6 人工妊娠中絶をしないですむ
- 7 多くの国で使われている実績がある
- 8 月経痛の緩和や貧血の予防などの副効用がある
- 9 この中にはない

66

問 33-2 低用量ピルを「使っている」または「ぜひ使いたい」という目的は何ですか。（○は1つ）

- 1 避妊が目的である
- 2 副効用を得ることが目的である
- 3 避妊と副効用の両方が目的である

67

【問 33 で「1 すでに使っている」と答えた方に、お聞きします。「2 ぜひ使いたい」と答えた人は問 34 へお進みください】

問 33-3 低用量ピルを「使っている」満足度はどの程度ですか。（○は1つ）

- | | |
|------------|-----------|
| 1 満足している | 3 やや不満である |
| 2 まあ満足している | 4 不満である |

68

【問 33 で「3」または「4」と答えた方に、お聞きします。】

問 33-4 低用量ピルを、「使えない」または「使いたくない」ことの最も大きな理由は何ですか。（○は1つ）

- 1 副作用が心配
- 2 情報が入手できない
- 3 相談する場所がない
- 4 毎日飲まなければならないのは面倒
- 5 女性だけに負担がかかる
- 6 すでに使っている避妊法で十分
- 7 性感染症やエイズを予防できない
- 8 費用がかかりすぎる
- 9 配偶者またはパートナーが反対している
- 10 親が反対している
- 11 もらう前に医師の検査・診察を受けるのが面倒
- 12 年齢が高いので使えない
- 13 病気があるため使えない
- 14 ここにはない

69 70

子宮頸がん予防ワクチン についてお聞きします。

問 34 あなたは「子宮頸がんを予防するワクチン」を知っていますか。(〇は1つ)

⑦①

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問 35 あなたは「子宮頸がんを予防するワクチン」を接種したいですか(あなたが男性の場合、あなたの相手に接種して欲しいですか)。(〇は1つ)

⑦②

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1 非常に接種したい(して欲しい) | 4 あまり接種したくない(して欲しくない) |
| 2 まあ接種したい(して欲しい) | 5 まったく接種したくない(して欲しくない) |
| 3 どちらでもない | |

人工妊娠中絶 についてお聞きします。

問 36 あなたは、人工妊娠中絶についてどう思いますか。あなたの考えに一番近いものを選んでください。(〇は1つ)

⑦③

- | | |
|-----------------------|-------------|
| 1 認める | 4 どちらともいえない |
| 2 一定の条件を満たす場合は、やむをえない | 5 この中にはない |
| 3 認めない | |

問 37 あなた(あるいはあなたの相手)は、これまでに、人工妊娠中絶の手術を受けたことがありますか。1から7までの番号に○を1つつけてください。また、1か2に○をつけた人は、その時のあなたの年齢を記入してください。(〇は1つ、1または2に〇の場合は年齢も記入)

⑦④

⑦⑤ ⑦⑥
⑦⑦ ⑦⑧

- | | | |
|----------------|---------|----------|
| 1 1回・・・() 歳の時 | 6 一度もない | } → F1 へ |
| 2 2回・・・() 歳の時 | 7 わからない | |
| 3 3回 | | |
| 4 4回 | | |
| 5 5回(以上) | | |

【問 37 で「1」～「5」と答えた方にお聞きします。】

問 37-1 では、過去1年間に人工妊娠中絶の手術を受けたことはありますか。(〇は1つ)

⑦⑨

- | | | | | |
|------|------|------|--------|---------------|
| 1 1回 | 2 2回 | 3 3回 | 4 4回以上 | 5 過去1年間は一度もない |
|------|------|------|--------|---------------|

問 37-2 あなた(あるいは、あなたの相手)が、最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決めた理由は、何ですか。(〇は1つ)

⑦⑩

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1 相手と結婚していないので、産めない | 6 育児していく自信がない |
| 2 経済的な余裕がない | 7 相手が特定できないから |
| 3 これ以上、子どもは欲しくない | 8 相手との将来を描けないから |
| 4 自分の身体が妊娠・出産に耐えられない | 9 相手のことが好きではないから |
| 5 自分の仕事・学業を中断したくない | 10 この中にはない |

問 37-3 あなた（あるいはあなたの相手）が、最初の人工妊娠中絶手術を受けることを決定したとき、あなたはどのような気持ちでしたか。（○は1つ）

1 自分の人生において必要な選択である	7 相手に対して申し訳ない気持ち
2 多くの女性が中絶しているから、かまわない	8 相手に対する怒り
3 これで解放されると思った	9 自分の親に対して申し訳ない気持ち
4 手術への不安	10 この中にはない
5 自分を責める気持ち	11 覚えていない
6 胎児に対して申し訳ない気持ち	

81

最後に、この調査を統計的に処理するために、あなたご自身のことについていくつかお聞きします。

F1 あなたの性別（○は1つ）

1 男性	2 女性
------	------

82

F2 あなたの年齢は、満でおいくつですか。

<input type="text"/>	歳
----------------------	---

83 84

F3 あなたには、きょうだい がいらっしゃるでしょうか。

1 いる (<input type="text"/> 人 *ご自身は含みません)	2 いない → F4へ
-------------------------------------------	-------------

85

86 87

【F3で「1 いる」と答えた方にお聞きします。】

F3-1 あなたには、異性のきょうだい がいらっしゃるでしょうか。（○は1つだけ）

1 いる	2 いない
------	-------

88

F4 あなたが中学生時代だったときの家族形態は、どれにあてはまりますか。（○は1つ）

1 一人暮らし	5 親以外の血縁（祖父母、叔父、伯母など）と同居
2 両親と同居	6 その他
3 一方の親と同居	7 わからない
4 親と親以外の血縁（祖父母、叔父、伯母など）と同居	

89

F5 現在、あなたは結婚していらっしゃいますか。（○は1つだけ）

1 未婚	4 離婚
2 初婚	5 死別
3 再婚	

→ F6へ

90

【F5で「1 未婚」「4 離婚」「5 死別」と答えた方にお聞きします。】

F5-1 現在、あなたは結婚したいと思いますか。（○は1つ）

1 はい	2 いいえ	3 わからない
------	-------	---------

91

F6 あなたには、お子さんがいらっしゃるでしょうか。いる方は何人いるかご記入ください。

1 いる (<input type="text"/>) 人	2 いない → F7へ
---------------------------------	-------------

92

93 94

次ページF6-1へ

【F6で「1 いる」と答えた方にお聞きします。】

F6-1 一番上のお子さんの年齢はおいくつですか。

95 96

<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto;"></div>	歳
-----------------------------------------------------------------------------------------	---

F7 (結婚の有無に関わらず) 現在、あなたはお子さんが欲しいですか。(○は1つ)

97

1 はい	2 いいえ	3 わからない
------	-------	---------

F8 あなたの最終学歴を以下の項目から選んでください。(○は1つ)

98

1 中学校卒	3 専門学校卒	5 大学卒業
2 高等学校卒	4 短期大学	6 大学院卒

F9 あなたの主な職業は、どれにあてはまりますか。(○は1つ)

99

1 勤め人 (常勤)	4 学生	} → F11へ
2 勤め人 (非常勤・パートタイム・アルバイトなど)	5 主婦 (主夫)	
3 自営業 (事業の経営者・家業の手伝い・内職など)	6 無職	

【F9で「1」～「3」と答えた方にお聞きします。】

F10 あなたは1週間に平均どれくらい働いていますか。(○は1つ)

100

1 15時間未満	5 35～43時間未満
2 15～25時間未満	6 43～49時間未満
3 25～30時間未満	7 49～60時間未満
4 30～35時間未満	8 60時間以上

【F11～F12の質問は20歳以上の方にお聞きします。】

F11 あなたは現在、タバコを習慣的に吸っていますか。(○は1つ)

(習慣的に吸っている人とは、「今までに合計100本以上または6ヶ月以上吸っている人」のうち「最近1ヶ月も吸っている人」です。)

101

1 もともと吸わない (吸ったことがない)	} → F12へ
2 吸ったことはある (吸っている) が習慣的ではない	
3 過去に習慣的に吸っていた (現在は吸っていない)	
4 習慣的に吸っている	

【F11で「4 習慣的に吸っている」と答えた方にお聞きします。】

F11-1 1日の平均本数と喫煙年数を教えてください。

102～104

1日の平均本数		本	喫煙年数		年
---------	--	---	------	--	---

105 106

F12 あなたは1週間の内、平均してどの程度お酒を飲みますか? (換算表を使ってお答えください)

(○は1つ)

107

1 飲まない 2 1合未満 3 1～2合未満 4 2～3合未満 5 3合以上	日本酒一合 (180ml) 換算表 ビール 中瓶1本 約500ml 焼酎 35度 80ml ウィスキーダブル1杯 60ml ワイン 2杯 240ml	例: 1週間に350mlのビールを3本(1050mlで2合)と焼酎2杯(160mlで2合)飲めば、合計4合になります。
----------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------

ご協力いただき、本当にありがとうございました。

第5回「男女の生活と意識に関する調査」

実行委員会名簿

- ◎竹田 省（順天堂大学医学部・主任研究者*）
- 北村 邦夫（社団法人 日本家族計画協会・分担研究者*）
- 安達 知子（総合母子保健センター愛育病院・分担研究者*）
- 中村 好一（自治医科大学医学部・分担研究者*）
- 阿江 竜介（自治医科大学医学部・地域医療学センター）
- 古城 隆雄（自治医科大学医学部・地域医療学センター）
- 菅 睦雄（リプロヘルス情報センター）
- 杉村由香理（社団法人 日本家族計画協会）
- 坪井 聡（自治医科大学医学部・地域医療学センター）
- 吉田 穂波（Department of Society, Human Development & Health
Harvard School of Public Health）
- 安藤 昌代（社団法人 新情報センター）
- 近 泰男（社団法人 日本家族計画協会）
- 松本 清一（社団法人 日本家族計画協会）
- （◎委員長 ○副委員長 □顧問）

*厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業）

「望まない妊娠防止対策に関する総合的研究」班

わが国の自傷行為に関する疫学研究

研究分担者 中村 好一 自治医科大学教授
北村 邦夫 日本家族計画協会家族計画研究センター所長
研究協力者 阿江 竜介 自治医科大学助教
坪井 聡 自治医科大学助教
古城 隆雄 自治医科大学助教
吉田 穂波 ハーバード大学リサーチフェロー

研究要旨：背景と目的：自傷行為に関するわが国の疫学的データの分析報告はきわめて少ない。本研究ではわが国の全国的な疫学データである「第5回 男女の生活と意識に関する調査」の内容をもとに、わが国の自傷行為に関するデータを集計解析し、自傷行為の経験と衝動（意図）に関連する要因を明らかにした。方法：層化二段階無作為抽出法を用いて選出された2,693人に調査票を配布し、自傷行為に関して質問した。単純集計を行った後に、自傷行為の経験／衝動（意図）があった群（自傷行為群）となかった群（以下、非自傷行為群）の2群に別けて群間比較を行った。結果：1,540名（回収率57.2%）の対象者が回答した。対象者全体のうち、自傷行為群は326人（23.7%）であり、その70.4%が女性であった。年齢階級別にみると10-20歳代、30歳代、40歳代において、自傷行為の経験／衝動（意図）があったと答えた者の割合は、それぞれ27.1%、24.1%、19.3%であり、概ね若年ほど多く見られる傾向があった。群間比較について、平均年齢（自傷行為群：32.9歳、非自傷行為群：34.5歳、 p 値： $p<0.01$ ）は自傷行為群で有意に若く、女性（70.4%、52.0%、 $p<0.01$ ）の割合が有意に高かった。自傷行為群では結婚願望のある者（42.9%、54.2%、 $p=0.01$ ）、思春期に行動や考え方に関して主に親族から影響を受けたと答えた者（59.6%、67.6%、 $p=0.05$ ）、中学時代の生活が楽しかったと答えた者（57.2%、95.4%、 $p<0.01$ ）、中学生時代の親とのコミュニケーションが良好だったと答えた者（83.1%、91.6%、 $p<0.01$ ）の割合が有意に低かった。一方、両親の離婚を経験した者（17.5%、10.3%、 $p<0.01$ ）、虐待を受けた経験があると答えた者（13.5%、2.5%、 $p<0.01$ ）、異性との関わりを面倒と思うと答えた者（46.1%、39.4%、 $p=0.02$ ）、人工妊娠中絶の経験があると答えた者（22.1%、11.4%、 $p<0.01$ ）の割合は有意に高かった。両親に対する敬意・感謝の気持ちがあると答えた者の割合は、母親（79.9%、88.9%、 $p<0.01$ ）、父親（64.5%、79.2%、 $p<0.01$ ）ともに自傷行為群で有意に低かった。結論：わが国の自傷行為に関するデータを集計解析し、自傷行為に関連する要因を明らかにした。

A. 研究目的

リストカット（Wrist-cutting syndrome：手首自傷症候群）^{1,2)}に代表される自傷行為は、重要な課題として広く認識されている。しかし、リストカットのように身体を直接傷つける行為以外に、薬物やアルコールなどの過剰摂取も一般には自傷行為と見なされている³⁾。また、自傷行為の概念および定義は世界各国でかなり異なっている³⁾。たとえば、米国では自殺に関する定義を、自殺意図がある場合：Attempted suicide（自殺未遂）と自殺意図がない場合：deliberate self-harm (DSH)（意図的自傷行為）とに区別している⁴⁾。一方、英国では、自殺の意図の有無にかかわらず自殺行為に及んだ後に生き残った場合をDSHと定義している^{5,6)}。わが国においては、自傷行為に関する明確な定義は存在していないが、自殺未遂と自傷行為とは区別される傾向があり、一般にリストカットはDSHに含まれると考えられている⁷⁾。

先行研究を調べてみると、諸外国では自傷行為に関する様々な知見が数多く蓄積されていることが分かる。たとえば、成人の自殺者の約半数は自殺意図がないDSHであることがわかっている⁸⁾。さらに、両親の不仲や離婚、さらには幼少時に虐待を受けた経験があるなどの家庭環境要因が、DSHの罹患に有意な関連があると報告されている⁹⁻¹⁷⁾。その一方で、わが国ではリストカット患者を対象とした症例検討はいくつか報告されているものの¹⁸⁻²⁰⁾、自傷行為に関する疫学的データの分析報告はきわめて少ない。特に、全国的な疫学データを取り扱った研究報告は見当たらない。そのため、わが国における自傷行為の実態を正確に把握する疫学研究は、きわめて重要性が高く、その予防や支援策の検討に関する基礎資

料となり得る。

そこで、本研究ではわが国の全国的な疫学データである「第5回 男女の生活と意識に関する調査」の内容をもとに、わが国の自傷行為に関するデータを集計解析した。本稿ではその結果を報告するとともに、自傷行為の経験と衝動（意図）に関連する要因を明らかにした。さらに、諸外国における自傷行為の実態との比較検討を交えて考察した。

B. 研究方法

I. 研究対象者

本調査は、層化二段階無作為抽出法を用いた。まず、全国都道府県の市区町村を単位として7地区（北海道、東北、関東、中部、禁忌、中国・四国、九州）に分類した。さらに各地区における都市規模によって、大都市、人口20万人以上の都市、人口10万人以上の都市、人口10万人未満の都市、郡部（町村）という5つに層別化した。その上で、区・都市規模別各層における推計母集団数の大きさにより、それぞれ3,000の標本数を比例配分し、各調査地点の標本数が13～23になるように調査地点数を決めた。次に、抽出の第1段階目として、各層内で国勢調査区より割り当てられた地点数を無作為に抽出し、第2段階目として各地点を管轄する自治体の役場で住民基本台帳から対象者個人を抽出した。

平成22年9月1日現在満16歳から49歳の国民男女3,000人を対象として、転居、長期不在、住居不明によって調査票を手渡すことができなかったものを除く2,693人に調査票を配布した。平成22年9月11日～9月28日に調査を実施した。

II. 調査項目

調査項目に関しては、自傷行為の経験に関する設問の他に、次のようなカテゴリーに分類して設問した。

基本情報： 年齢、性別、きょうだいの有無、本人の離婚経験の有無、結婚願望の有無、子供の有無、育児願望の有無、最終学歴、嗜好（喫煙・飲酒）

学童期・思春期における情報： 生まれ育った地域での友人や知人との関わり、行動や考え方に影響を受けた要因、中学生時代の生活状況、家庭環境（親とのコミュニケーションの有無、両親が離婚した経験の有無、虐待を受けた経験の有無）

性の意識と性行動における情報： セックス（性交渉）への関心の有無、異性との関わりに関する考え方と性行動、異性とのセックスの経験の有無および頻度

その他の項目： 人工妊娠中絶の経験（男性はパートナー、女性は自分自身）の有無、両親に対する敬意・感謝の有無

III. 統計分析

自傷行為の経験に関する項目については、「あなたは、これまでに自傷行為（自分で自分の体を傷つける、たとえばカミソリで手首に傷をつけるなど）をしたことがありますか」の無回答者は分析対象から除外した。さらに、この設問に対する回答に従って、次の2群に別けて群間比較を行った。

自傷行為の経験／衝動（意図）があった群（以下、自傷行為群）： 自傷行為を「何度もある」、「一度だけある」あるいは「したことはないが、しようと思ったことはある」と答えた対象者の群

自傷行為の経験／衝動（意図）のなかった群（以下、非自傷行為群）： 自傷行為を「したことはない、しようと思ったこともない」と答えた対象者の群

設問項目全ての記述統計を行った後に、

群間比較について χ^2 二乗検定あるいはT検定を行った。有意水準は5%とした。統計解析ソフトはDr. SPSS II for Windowsを使用した。

（倫理面の配慮）

本研究は、社団法人新情報センター倫理委員会の承認を得て行った。

C. 研究結果

層化二段階無作為抽出法によって選び出された2,693人の対象者の中から、1,540名（回収率57.2%）が回答した。

I. 回答状況（N = 1,540）： 表1

基本情報について、平均年齢（±標準偏差）は34.2（±9.3）歳であった。男性が43.6%、きょうだいのいる者が93.9%、離婚経験のある者が9.5%、結婚願望のある者が51.2%、子供のいる者が54.9%、育児願望のある者が39.9%、最終学歴が大学以上の者が24.4%であった。嗜好については、喫煙習慣のある者が29.6%、1合以上の飲酒習慣のある者が32.9%であった。

学童期・思春期における情報について、生まれ育った地域の方々との関わりが良好だったと答えた者が96.1%、行動や考え方に關して主に親族からその影響を受けたと答えた者が65.7%であった。中学生時代の生活が楽しかったと答えた者は76.0%であり、中学生時代に親とのコミュニケーションが良好であったと答えた者は89.6%であった。両親の離婚を経験した者は11.9%であり、虐待を受けた経験のある者は5.1%であった。

性の意識と性行動における情報について、セックス（性交渉）に関心があると答えた者が64.3%、異性との関わりが面倒と思うと答えた者が41.1%であった。異性とのセッ